

ご安全に！基幹労連の工藤です！（10）

「地方創生で日本を豊かに 参議院選挙へギアチェンジ」

ご安全に！基幹労連の工藤です！

5月15日に開催した各県議員団代表者会議の挨拶メモを発信します。

各県での統一地方選挙ご苦労様でした。基幹労連全体では57名中、54名の当選となり完全勝利とまではいきませんでした。活動されてきた皆様のご尽力に敬意を表します。

私自身「地方創生」をどのように進めていくかは、この国の極めて大きな課題であると考えております。これまで形を変え時の中央政権は危機感を持ち、田中角栄首相の「日本列島改造論」など地方に対する対策を行っています。決定的に異なるのは、これまでの日本は人口が増加する社会でしたが、今日、人口減少社会へと突入したことです。加えて少子化・高齢化、さらに、労働法制改悪論議に至る悪しき格差社会にまで突入している点です。また、これにより地方における税収・産業に変化が現れている点です。各知事の当選挨拶でも「少子高齢化は待たなしで取り組まなければならない課題である」と多くが述べています。

社会構造が変化中、特に人口が減少する中、地方をどのように活性化させてゆくのかは、足下とこれらを見据えた、各地域の極めて大きな課題であり、ここが肝であると認識しています。

基幹労連の組織内議員は工場や事業所が存在する地域の代表者であり、製造業を中心として、民間の活力で街をどのように活性化させていくかを真摯に議論いただいている方ばかりです。また、中央との太いパイプを持ち、中央の政策と地方の政策を国会議員の皆さんとともに協議・相談できる関係にもあります。仲間が相互に連携しながら、豊かな日本を共に創り上げていきたいと思っております。

昨年9月からの基幹労連第7期以降、12月には衆議院選挙があり、統一地方選挙がありました。次は、来年の参議院選挙です。私は5月12日に開催した中央執行委員会で次期参議院選挙に向けてギアチェンジして取り組むと挨拶しました。基幹労連は「とどろき利治」政治顧問を比例区に、そして「柳田稔」副代表を広島選挙区へ「金子洋一」幹事長を神奈川県選挙区へそれぞれ擁立して戦います。組織の誇りをかけて戦う事になります。

参議院比例区は現在、民主党は各産別からの12名を含め15名以上は確実に立候補いたします。一方、前回の第23回参議院選挙での当選者は7名でした。昨年末の衆議院選挙、統一地方選挙の結果を見ると民主党への支持が戻っているとはいえ、極めて厳しい戦いとなります。是非、「基幹労連に集う仲間の渾身の力を込めた取り組み」を、お願いと要請にさせていただきます。

以上

2015年5月19日

日本基幹産業労働組合連合会
中央執行委員長 工藤 智司